

小学校だより

2022年
2学期号
2022.12.22

Vol.
151

INTERVIEW

校長先生が
松原先生、吉田先生へ
質問してみました

楽しい理科・考える理科

校長 相川 保敏

近年「理数離れ」という言葉を耳にします。学研総合教育研究所が毎年行っている「小学生白書」によると、一九九〇年代は理科も好きな教科ベスト5に何度も登場していましたが、二〇一五年以降は一度も入っていません。また、男子に比べ女子の方が理科に対する苦手意識が高いようです。

本年度の全国学力学習状況調査で四年ぶりに理科が実施されました。本校の子どもたちの理科の学力は全国平均を上回っていますが、理科の勉強が好きだという割合は全国よりも低くなっています。そうした中で、女子率一〇〇%の小学校で高学年の理科を担当されている松原道晴教頭先生、吉田厚司先生から「本人と理科のかかわりや理科教育についてのお考えなどを伺いました。理科を好きになるヒントが隠れていると思います。

Q 先生が理科好きになったきっかけは何ですか？

松原先生 小学校入学前、入れ物に液体状のものをに入れて混ぜ、一番上に木の葉っぱを置いてふたをしておきました。二、三日後にふたを開けた時に、クリーム状になっていてびっくりにしたことを覚えていますが、動物図鑑や昆虫図鑑をよく眺めていました。

吉田先生 小学生のころ、ゲルマニウムラジオを作り、ラジオ放送が聞こえた時の感動したこと。親に化石取り

特集

梶小かるた

委員会報告 P.4

学期の行事 P.5

PTA P.18 - P.19

二期の思い出 P.20

学年トピックス

P.6 - P.17

へつれていってもらった時に、取った化石が二億年前の化石であることに驚いたことなどがきっかけです。今も年に数回、ジオサイト（地球の活動のある地質や地形の見学に行きます。



▲本物のアンモナイトを触ってみる

Q 理科の楽しさは何ですか？

松原先生 前出のようにものの状態が変化したり、色が変わったりすることがおもしろいと思います。目の前が突然変化すると興味がわきます。ものの体積が温度によって変わることも身近でとても楽しいことに感じます。

吉田先生 自然の不思議さ、巧みさ、時間、空間のスケールの大きさを感じ取ることを思います。

Q 理科を好きになるにはどうしたらいいですか？

松原先生 理科の学習範囲は自然から宇宙まで非常に広いです。ただ、何かを好きになるとそのつながりで他の分野とつながることも多くあります。例えば、猫が好きな人は、その習性や生息範囲、食べ物や飲み水、排泄物の処理、なぜ暗くても見えるのか...など理科だけに限らずいろいろな分野にも興味を持っていきます。身の回りのちよっとしたことに興味を持てれば、きっと理科につながっていくと思います。

吉田先生 自然に親しむことと思いますが、自然に親しむことが少なくなった現在、理科の授業に大きな役割があると思います。

Q よく「虫が苦手、触れない」という声を聞きますが、どうしたら苦手を克服できますか？

松原先生 どんな人にも苦手はあります。苦手を克服するよりも得意を伸ばす方が、楽しくできます。理科の学習範囲は広いので、自分が得意だと思っ部分を頑張っていけばよいと思います。

吉田先生 虫を触るのも、虫に対する一つの親しみの現れだと思いますが、虫を触ることが理科教育の目標ではありません。虫を触れなくても構いません。虫は苦手でもベットの動物をかわいがっている子も多いと思います。生き物を飼ったり、生き物の特徴を調べたりすることに、生命の巧みさ、命の尊さを感じ取ることが大切です。

Q 理科の授業で一番大切にされていることは何ですか？

松原先生 何かを覚えることも必要かもしれませんが、暗記だけでは新しい発見は難しいと思います。自分で調べること、自分で見つけることが興味を深め広げることにつながると思います。

吉田先生 梶山小学校には、知識や理科に対する意欲がある子が多くいます。しかし、実験観察を行うと「本当だ!」とつぶやきが聞こえます。実際に見たり、確かめたりすることが少ないからです。体験を通した確かな知識の習得や、疑問に思ったことを解決していく問題解決の力を育てていきたいと思っています。



▲水の流れ方・土の削られ方を撮影する



吉田厚司先生

大学・大学院では、地震を研究。
名古屋市長小学校に長年勤務し、教務主任時代は理科研究会委員長、校長時代は理科教育研究会事務局長、全国大会事務局次長を務める。